



12月議会安道よし子の一般質問

国保の減免制度に基準を設け支援を

国保は、国民皆保険におけるセーフティネットです。

病院に行けるよう保険証の交付を

私が、国保の役割について質すと、市側は、国保は「社会保障であり国民保健に寄与する」と答える一方で、税負担の公平性から「相互扶助、受益者負担の原則」で成り立っていると、国保の理念に反する答弁でした。

保険税を払えない苦しい生活の人を支えるのが社会保障です。入間市では保険税を払えない人から保険証を取りあげています。保険証がなければ病院の窓口で全額負担。私は、誰にでも保険証を交付し、病院に行けるよう改善を求めました。



この間、制度の手直しにより、入間市では、リストラなどで失業した人への保険税減免は366件、医療費の窓口負担の免除は2件実施しました。

市民の助けになる制度の周知徹底を求めると市民部長は「周知については努力する」と答えました。

国保の広域化で保険税引き上げに

申請減免制度は、ほとんど活用されていません。私は、収入の減少した時には、減免制度を活用できるよう基準を設けるべきと提案しましたが、「広域化の計画がある」と、消極的でした。

国保の広域化による影響について市長に質すと、「端的に言うと保険税が引き上がるおそれがある」と語り、広域化は問題が多いと答えました。

夜間診療所の時間拡大・充実を

平成21年度から狭山市との連携で、夜間診療所(午後7時30分～10時30分)が1週間通して開設されました。

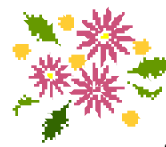
21年度の利用状況は、診察者数が、前年より2115人増の3215人。最も増加した11月で、596人が利用し、ピークの日には、57人も診察しています。多いときには医師が2人体制

で対応。市民にとって、待ち望まれ

夜間診療所

ていた施設と言えます。

私は、診察時間の拡大や施設の拡充などの改善を求めました。市長は現状の体制で行うと答弁。安心して子育てできる環境づくりが必要です。



いつもはつらつ

安道よし子の市議会通信

No. 22
2011年1月号



日本共産党市議会議員

本年もよろしくお願いいたします。昨年、景気の落ち込みが続き、くらしは大変でした。国政でも市政でも住民本位の政治が求められています。今年卯年。くらしがよくなるように、うさぎのようにはねて、飛躍の年になるように、みなさんと力を合わせがんばります。



踏切拡幅を求め市と懇談

東町後援会のみなさん、地域の方々と一緒に12月21日、「第一病院そばの踏み切り拡幅と歩道の整備」を求めて、市と懇談しました。踏み切り付近は、交通量が多く、自動車や自転車、歩行者が頻繁に通行するため大変危険です。

かしくないほど危険」と指摘しています。踏み切り拡幅と歩道の改善を市に要望しました。「市は対応できることから着手する」と、要望にこたえ努力する姿勢を示しました。

事故が起きないように改善を

病院に通院している地域の方々は、今のままでは「いつ事故が起きてもお



後援会の方々と一緒に担当課と懇談

みなさんの声を届け頑張ります

安道よし子の連絡先 どのなことでもお気軽にどうぞ
電話・Fax 04(2962)8082 携 帯 090(4811)0553

子どもの教育権を守るために

12月定例会市議会

私学助成の拡充求める意見書採択

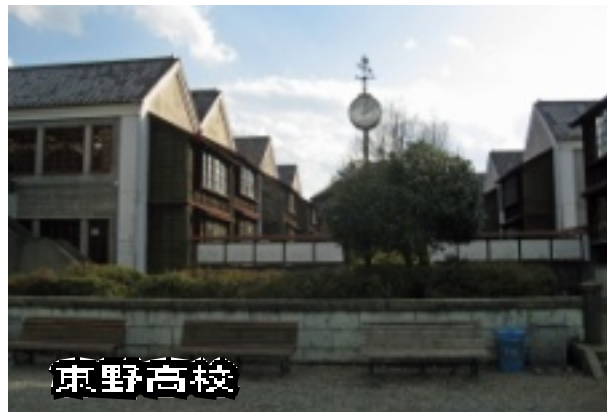
今議会に提出された議案はすべて
全員一致で可決・成立しました。

日本共産党の提案が実る

共産党は、「私立学校の授業料軽減のための助成拡充を求める意見書」を提案し、全員一致で採択されました。意見書は国・政府に提出されます。

今年度から公立高校の授業料が無償化され、私立高校については就学支援金が支給されています。しかし、私立高校の授業料は全国平均で35万円であり、学費が家計の重い負担になっています。

意見書は、経済的理由で教育を受ける権利が奪われないよう、私立学校への助成の拡充を国・政府に求めています。



東野高校

公民館使用料の免除規定の見直しに関する条例改正は、6月議会の付帯決議を受け提出されました。

少人数サークルなどの活動を支援する条例改正が可決

会員の減少などで負担額が重くなる団体の使用料を50%に減額し、利用の向上を図るねらいです。減額対象の基準などは、規則で具体化することになります。

使用取り消しの使用料還付は、使用する日の14日前までで、使用料の50%が還付されます。

一般会計・国保・高齢者医療・狭山台の21年度決算に反対

12月議会では、9月議会に提出された平成21年度決算認定の採決が行われました。日本共産党は、11会計のうち4つの会計について反対しました。

一般会計では「子ども医療費の窓口払い廃止など市民の要望が一部実現されたが、厳しい市民生活を応援する市政への転換が図れていない」と指摘。住民税の年金天引き、消防の広域化、生活道路整備の遅れなどについて反対しました。

学割・長期利用者の割引導入

入間市駅南口の自転車駐輪場使用料については、学生と長期利用者への割引料金を設定する条例が改正されました。利用者の負担軽減が図られます。

これまで自転車1台につき月額使用料が1階2200円、2階1800円、屋上500円が、学生は1階1700円、2階1400円、屋上400円に減額されます。

3ヶ月・6ヶ月の長期利用者の料金も減額されます。来年4月からの実施となります。

国民健康保険特別会計では、滞納者への制裁として社会的問題になっている保険証の取り上げを批判。申請減免を活用できるように改善を求めました。

後期高齢者医療特別会計では、年齢で差別し、高齢者に負担を強いる制度は直ちに廃止すべきと反対しました。

狭山台区画整理特別会計については、市民のくらしや福祉の予算を削り、市費投入を増額してきたことを批判しました。

日本の農業を守れ

日本農業に壊滅的な打撃を与えるTPPへの参加が検討されています。

共産党は「TPP参加に反対する意見書」を提案。意見書は他会派の賛同を得られず提出できませんでした。

しかし議会最終日に、いるま野農協から市議会に「TPP交渉への参加断固阻止に関する要請書」が提出されま



した。これを受け、共産党は農業委員会にもTPP反対の決議を提案しました。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

地デジ・渋滞・子ども医療費対策

吉沢かつら議員

市民税の減免制度・就労支援

安道よし子議員

国保の改善・夜間診療所の充実

小出わたる議員

保育・生活保護・学校のクーラー

日本共産党市議会報告

2011年1月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883